

令和6年度 学校評価アンケート結果（全日制・生徒）

評価 4：そう思う 3：ある程度そう思う 2：あまりそう思わない 1：まったくそう思わない

評価項目	番号	評価内容	評価（％）下段R5			
			4	3	2	1
授業及び学習活動	1	先生方は「シラバス」などを用いて、教育課程や年間指導計画について、きちんと説明してくれている。	38.0	54.8	5.4	1.8
			39.9	44.2	12.3	3.7
	2	生徒の学習意欲が高まるように考え、授業を工夫している。	39.4	53.8	6.3	0.5
			37.4	54.0	8.0	0.6
	3	授業はわかりやすく、自分のためになるものであると感じられる。	44.3	49.8	4.1	1.8
			35.6	57.1	7.4	0.0
	4	定期考査の内容や難しさは適当で、評価は妥当である。	35.3	54.8	8.1	1.8
			35.6	53.4	9.8	1.2
生徒指導	5	先生方は公正な態度で、生徒の服装や生活態度の乱れを見逃さず、きちんと指導している。	44.3	44.8	7.7	3.2
			41.1	36.8	16.0	6.1
	6	先生と生徒の信頼関係が厚く、人間関係は良好である。	50.7	42.5	5.0	1.8
			42.9	49.7	4.9	2.5
進路指導	7	生徒の希望をよく聞いて、生徒が希望する進路に進めるように、適切な指導・助言を行っている。	55.2	37.6	5.4	1.8
			59.5	37.4	2.5	0.6
	8	きちんと情報提供を行い、生徒・保護者と連携して進路指導を行っている。	49.8	44.8	4.5	0.9
			50.9	41.7	6.1	1.2
教育相談・支援	9	先生は一人ひとりの生徒に対して、その生徒に応じた適切な対応をしている。	48.0	44.3	6.3	1.4
部活動	10	部活動の先生は、熱心に指導してくれている。	53.8	32.1	7.7	5.0
			48.4	36.5	9.4	5.7
	11	部活動の先生は、公正・公平で、よく部員の話聞いてくれ、一人ひとりを大切に する運営を行っている。	53.4	33.5	9.0	2.7
			50.3	33.8	10.2	5.7
	12	部活動の練習量や活動の量は適当である。	48.0	38.9	8.1	3.6
			46.5	38.9	11.5	3.2
学校行事	13	学校行事の内容は充実しており、時期・内容などは適当である。	57.5	35.7	5.0	1.8
			53.4	38.0	5.5	3.1
	14	学校行事は全員が参加できるように工夫されており、一人ひとりにとって実りある ものになっている。	57.5	37.6	3.2	1.8
			57.1	36.8	4.3	1.8
人権・同和教育	15	先生方はいじめの兆候をいち早く把握するよう努力し、問題を隠さず迅速に対応 しようとしている。	44.3	43.4	9.5	2.7
			40.5	45.4	9.2	4.9
	16	生徒のお互いの人権を大切にする気持ちを育て、より高い人権意識をもつように 指導している。	46.2	46.2	5.0	2.7
			44.2	45.4	7.4	3.1
その他	17	学校の設備は充実しており、学習や部活動に支障がない。	48.4	42.1	7.2	2.3
			49.7	41.7	6.8	1.8
	18	清掃がいきとどいており、快適な学習環境が保たれている。	43.9	49.3	5.4	1.4
			36.8	47.2	13.5	2.5
	19	安全に配慮されており、防災訓練や避難訓練も適切に行なわれている。	57.9	37.1	3.6	1.4
			55.2	38.7	4.9	1.2
	20	小豆島中央高校で高校生活を送って良かった。(3年生のみ)	68.5	25.8	4.5	1.1
			53.0	41.9	3.4	1.7

【分析等】

○ 多くの項目で「4」（そう思う）が昨年度を上回っている（「9教育相談・支援」は新設）。特に3年生に対して行った「20 本校で高校生活を送って良かった」は7割に迫る勢いである。

○ 一方で、すべての項目において「1」がわずかではあるが存在している。数字に直すと数名程度ではあるが、こういった声にもしっかりと耳を傾ける必要がある。誰一人として取り残さない高校をめざしたい。

○ 特定の層が集う高松の普通科高校ではなく小豆地域の中学生の多くが集う本校において「3」「4」の項目が一定の評価を得ていることは大変重要である。誰一人取り残さないことを実践しようとしている本校の教科指導力については、しっかりと中学校や地域にPRしていかななくてはならない。

○ 「18」など、本来、自己評価であるべき項目が他者評価になっていたりするので、今後は、生徒が、より良く変わろうとしたり、自分の力で改善していこうとするきっかけになるような自己評価の設問を設けたい。回答を通じて、ベクトルを他者ではなく自分自身にも向け、自身の在り方を見つめ直すきっかけとなるようなアンケートとしたい。アンケート自体も常に改善していかななくてはならない。